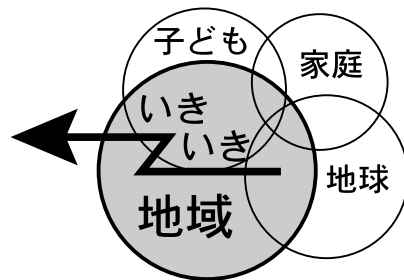


新しくされる「YMCAという居場所」



YMCAのプログラムには多くのボランティアの方が関わっています。その中の1つ、北YMCAの取り組みとそこに関わるボランティアの方の思いをご紹介します。

知ってみたい、見てみたい 好奇心から思い立った関わり

1977、8年頃でしようか、現在の総主事がスタッフとして北YMCAにおられた頃です。私の息子は小学生、昔話になりますかしら。その頃大学生リーダーだった方たちと息



子は今もお付き合いがあるのです。嬉しいことです。子どもの成長期に学校では得られない体験、また肉親、学校の先生とは異なる人間関係を経験しました。とても印象深いものとなって

加。親子ともにわかに英語の勉強をして国際キャンプに備えたり、その後自分も高校生のサ

このようなことを私も自分のことのように楽しんでいました。YMCAというところは何なのだろう？知ってみたい、見てみたい。生来、好奇心旺盛なタイプです。遂に自分が関わってみたいと思いはじめました。

まず英会話、留学生のためのボランティアチャーター、あしながおばさんの会(経済的に厳しい立場におかれてい

ピーコンサート企画の手伝い、料理教室、バザーなどに参加させていただきました。当然それぞれにいろいろな人々と関わりを持ちました。こうして振り返らせていただくと思えば、私の体験も豊かなものだ、お礼を述べたい気持ちです。

北YMCAでは地域の方々と触れ合う機会が多くあります。障がい者ボウリング大会や豊中教会で毎月1回行われる会員礼拝など、普段子どもたちと関わる機会が多い私にとっては色々な方々と関係を持つことは普段と違う気持ちになれ、とても新鮮に感じます。そのような多くの機会のなかで私にとって印象深いイベントは12月に行われたチャリティーコンサートです。



2004年度チャリティーコンサートの様子

今までになかった私を発見 自分の時間を奉仕する喜び

私は、学生の頃青少年活動のリーダーとして北YMCAに関わり、その後大阪を離れ、25年ぶりにまた豊中に住むようになりまして。そして、その頃の仲間と出



会ったことがきっかけでワイズメンネットワークとして、再びYMCAに参加してもう4年になるうとしています。その間に今までの私にはなかった大きな発見がありました。それは奉仕という言葉です。入会の頃、奉仕という言葉とは縁遠い生活で、そういう時間があればキーキを作ったり、洋服を洗いたいと思っていた私なのです。その気持ちが少

しずつではありますが、変化し、自分の時間を使うことよって奉仕の喜びを感じられるようになりまして。メネットの仲間と押し花の作品を作り、それを売っていただき、スペシャルオリピックやエイズ撲滅に向けての活動、支援に寄付できることがいかにすばらしいことなのか

昨年末の北YMCAのチャリティーコンサートにもリーダーOBの代表として実行委員会に参加いたしました。皆で力を合わせて行くことの大切さと同時に、このような活動の大変さを勉強いたしました。まだまだ発見の毎日です。

最後に今までのなかった大きな出来事。それは私の文章が活字になるなんて思ってもみなかったことでした！(伊藤笑美子・北YMCA協力会員)

改めて実感する 人は支えあって生きている

いけない。人と支えあいながら生きている、と今までもそう感じていた私でしたが、その時に改めて深く感じました。これからも多くの方々と共に進んでいくことを思い、多くの方々とつてYMCAを最高の舞台にする為に一生懸命に進んでいきたいと思

「多くの方々に良い音楽と共に最高のクリスマスプレゼントしよう」というテーマの下に協力会員の方、ワイズメンは一人では生きて

— 公示 — 会員大会

大阪キリスト教青年会会則第25条により
2005年会員大会を次の通り開催します。

大阪キリスト教青年会
常議員会議長 長尾 ひろみ

日時：2005年5月28日(土) 午後3時～5時
場所：大阪YMCA会館 大阪市西区土佐堀1-5-6

プログラム

1. 会員表彰(奉仕の書に誌す会員)
2. 報告と協議
 - (1) 常議員の選任
 - (2) 2004年度 事業および会計の報告
 - (3) 2005年度 基本方針の説明
 - (4) 2005年度 事業計画および予算の報告
3. 交流歓談の時

傍聴について

維持会員(本年3月31日現在)以外の会員は、常議員会に届け出て傍聴することができます。
希望者は5月13日(金)までに書面で大会事務局(大阪市西区土佐堀1-5-6 大阪YMCA統括本部)へお申し出ください。